

- 問1 福岡県内には、政令指定都市が2つ存在します。1つはかつて官営八幡製鉄所が置かれ、工業都市として発展した都市ですが、もう1つは九州地方最大の人口規模を誇る県の県庁所在地であり、行政や商業の機能が集中している都市です。後者の都市名を答えなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 北九州市 2. 飯塚市 3. 福岡市 4. 久留米市
-
- 問2 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。
2. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。
3. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。
4. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。
-
- 問3 九州地方の自然環境と地形の成り立ちについて述べた文として、阿蘇山に見られる「カルデラ」の形成理由を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。
2. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。
3. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。
4. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。
-
- 問4 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
1. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。
2. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
3. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。
4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
-
- 問5 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。（2017年 京都府公立入試 類似）
1. さけ 2. まだい 3. ほたてがい 4. かつお
-
- 問6 安価な外国産牛肉の輸入量が増加し、国際的な産品との競争が激しくなる中で、宮崎県の畜産農家が進めている取り組みとして適切な説明はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 牛肉の生産を段階的に縮小し、すべての農地を輸入の影響を受けにくいサトウキビ栽培に転換する。
2. 大規模な機械化によって生産コストを輸入牛肉よりも低く抑え、価格の安さで勝負する。
3. 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。
4. 海外の安い飼料を使わず、国内産の高級な牧草のみを使用することで、販売価格を輸入品の10倍以上に設定する。
-
- 問7 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. サンゴ礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。
2. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。
3. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。
4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。
-
- 問8 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。
2. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。
3. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。
4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。
-
- 問9 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
2. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いから。
3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に向きであったため。
-
- 問10 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
1. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため
2. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため
3. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため
4. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため
-
- 問11 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯 2. 阪神工業地帯 3. 京浜工業地帯 4. 北九州工業地帯
-
- 問12 日本の諸地域を学習する際、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の七つの地方区分が用いられることがあります。宮崎県を含むこの地方区分に基づいたとき、宮崎県と同じ区分に属する県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 熊本県・徳島県 2. 福岡県・鹿児島県 3. 愛媛県・香川県 4. 広島県・岡山県
-
- 問13 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 化学工業 2. 食料品工業 3. せんい工業 4. 金属工業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 福岡市	福岡県には福岡市と北九州市の2つの政令指定都市があります。北九州市は重化学工業を中心とした工業都市としての歴史が深いのに対し、県庁所在地である福岡市は、九州全域を管轄する官公庁や企業の支店が集まる地方中枢都市としての役割を担っています。
問2	答え 4 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問3	答え 1 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。	カルデラは、噴火に伴う地表の陥没によって形成される地形です。選択肢にある「火山灰が積み重なってできた台地」はシラス台地を指し、南九州（鹿児島県など）に多く見られます。阿蘇山のカルデラ内には草原が広がり、人々の居住地や耕作地、鉄道網などが整備されている点が地理的な特徴です。
問4	答え 4 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起こりました。
問5	答え 2 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせることで、高い生産額を維持しています。
問6	答え 3 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。	貿易の自由化によって海外から安価な牛肉が大量に流入するようになり、国内の畜産業は厳しい競争にさらされています。宮崎県ではこれに対抗するため、厳しい品質基準を満たした牛肉に地域名を冠した「ブランド化」を行い、高級感や信頼性を高める戦略をとっています。このように、価格ではなく付加価値の高さで選ばれる仕組み作りが、日本の農業振興策として重要視されています。
問7	答え 2 マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の河口付近など、海水と淡水が混ざり合う「汽水域」の湿地に発達する植物群の総称です。日本では沖縄県や鹿児島県の奄美大島などに自生しており、塩分に耐える特別な仕組みを持っています。多様な生物の生息地となっていることから、その豊かな自然環境はエコツーリズムなどの観光資源としても活用されています。
問8	答え 3 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問9	答え 4 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。	鹿児島県の大部分を覆うシラス台地は、火山噴出物が堆積してできたもので、水はけが良すぎるために水を溜めておくことが難しく、古くから稲作には適さない土地でした。そのため、水分をそれほど必要としないサツマイモや茶などの畑作に加え、広い土地を有効に活用できる肉用牛や豚、ブロイラーなどの畜産業が地域の基幹産業として発展しました。
問10	答え 1 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため	福岡市は「アジアの玄関口」とも呼ばれるように、韓国のソウルや釜山、中国の上海といった東アジアの主要都市に非常に近い位置にあります。特に韓国とは、東京へ移動するよりも短時間で往来できる場合があり、格安航空会社（LCC）の就航も盛んなことから、アジア圏からの観光客が利用しやすい環境が整っています。この地理的優位性が、特定の国からの高い利用割合に結びついています。
問11	答え 4 北九州工業地帯	北九州工業地帯は、中京工業地帯（約54.6兆円）や阪神工業地帯（約31.0兆円）などの他の四大工業地帯と比較して、出荷額の規模が最も小さいことが統計上の特徴です。産業構成では、歴史的な背景から金属工業のイメージが強いものの、現代のデータでは機械工業が最大の割合を占めており、次いで金属、食料品の順になっています。この構成比と総額の規模感から判断することが求められます。
問12	答え 2 福岡県・鹿児島県	宮崎県は九州地方に分類されます。選択肢のうち、福岡県と鹿児島県はいずれも宮崎県と同じ九州地方に属する県です。愛媛県、香川県、広島県、岡山県、徳島県は中国・四国地方に分類されるため、宮崎県とは異なる地方区分となります。このように地方区分を理解することは、日本全体の地域的特徴を把握する上での基本となります。
問13	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。